

E^エB^ブR^リI

3月25日(金)10時
全館オープン

江別窯業の歴史を伝える産業遺産「旧ヒダ工場」。

その姿を保存しながら、にぎわいを地域にもたらす商業施設
「EBRI」に生まれ変わります。

家族で楽しめる お店がズラリ

EBRI(エブリ)は、江別(Ebetsu)とれんが(Brick)の造語です。

出店するのは、レストランやカフェ、スイーツショップなどの飲食店、市場、物販などのお店。レストランでは、江別の食材を使い、れんが窯で焼き上げたパンやピザなどを提供するほか、市場では農産物を提供します。



▲ 江別産れんがを使った3m四方の窯
開店に向け、手積みをしています

市民の皆さんに家族で利用していただくほか、観光に訪れる市外の方もターゲットにしています。

「コンセプトは つくる」

旧ヒダ工場に、土管・陶管などを生産してきた歴史があり、江別には「れんがとやきものまち」として、「ものづくり」で発展してきたまちの魅力があります。

そこで運営事業者が決めたEBRIのコンセプトは「つくる」。ものづくりはもちろんのこと、人と人とのつながりや、地域のにぎわいをつくることを目指しています。

催しでにぎわいを

お店以外にも地域の方の交流の場となるイベントスペースを設け、催しの際に活用します。ものづくりのワークショップなど、さまざまなイベントを計画しています。

団体での利用も可能(有料)で、食や物販、雑貨市などの企画にもご利用いただけます。

EBRIを 盛り上げる学生

アンテナショップ内で目を引く黒板のチョークアート。全館オープンに向けて、一部を北翔大学の学生たちが描きます。

テーマは、旧ヒダ工場の再生にちなんで、「江別の未来」。若い感性から生まれた作品

▼子どもが描いた塗り絵を
ゆきだるまに投影



▲市内のイラストレーターと打ち
合わせを重ねる北翔大生ら

▼目を引くチョークアート
北翔大生が一部を描き替えます



が、EBRIを盛り上げます。
北海道情報大学の学生は、
子どもたちが描いた塗り絵を
雪だるまに投影する「ゆきだ
るまプロジェクト」を企画。2月16日(火)か
ら21日(日)まで、毎晩映し出さ
れる作品は、オープン迫るE
BRIに花を添えました。

▼パンフレットが手に入るコーナー



アンテナショップでは、市
内のイベントスケジュールが
見られるほか、観光パンフ
レットも手に入ります。情報

市内の観光案内



▲3市の特産品を展示販売する
江別アンテナショップGET'S

3市の魅力発信

先行オープンした江別アン
テナショップGET'S(ゲッ
ツ)は、江別はもとより、姉
妹都市グレスシャム市や友好都
市土佐市の特産品を展示販売
します(営業時間10時～20時)。

民間の力で生まれ変わる 「旧ヒダ工場」



旧ヒダ工場の歩み

旧ヒダ工場の歴史は、昭和16年に建設
された肥田土管工場に始まります。現存す
るれんが造りの建物は、昭和26年から28
年に建てられたものです。平成10年に株
式会社ヒダが自主廃業するまで、主に土管
や陶管などを生産していました。

保存・活用事業

歴史的建造物の保存・活用のため、平成
12年に市が旧ヒダ工場を取得。平成21年
に経済産業省の近代化産業遺産に認定され
ました。

これまで施設の一部を姉妹都市との経済
交流を行う江別グレスシャムアンテナショッ
プとしてきましたが、民間のアイデアで、
さらなる利活用を図るため、保存活用事業
者を公募。

平成26年度にストアプロジェクト株式
会社(札幌)から応募があり、事業者選定委
員会の審議を経て、活用事業者に決定。市
と20年間の土地建物使用貸借契約を結び、
3月25日、全館オープンを迎えます。

地域の活性化

今後は、アンテナショップ
に備わる魅力発信と観光案内
機能により、市内の観光スポッ
ト巡りを促すなど、施設の魅
力・集客力を活かして江別全
体の活性化を目指します。



▲観光案内の横に催しの日程を掲示

を集めて、市内観光に出かけ
ましょう。

アクセスMAP



- 開館時間／10時～22時
- 住所：江別市東野幌町3-3
- 駐車場／約100台
- (JR野幌駅より徒歩5分)

詳細

保存活用事業など…商工労働課 ☎ 381-1023
施設運営など…EBRI(エブリ) ☎ 398-9570
観光・特産品の情報など
…江別アンテナショップGET'S ☎ 398-9558
※最新情報は運営事業者のホームページへ。
(<http://www.ebri-nopporo.com/>)